

家畜市場 価格の推移 (1月)

▼子牛価格(三次家畜市場)

(単位:円・頭・kg・%)

種類	入場頭数	成立頭数	取引率	最高価格	最低価格	平均価格	体重	
スモール	雌	7	6	85.7%	272,160	45,360	94,269	64
	雄	103	99	96.1%	144,720	12,960	105,242	65
計	110	105	95.5%	272,160	12,960	104,544	65	
F1	雌	163	156	95.7%	237,600	84,240	187,290	65
	雄	173	161	93.1%	338,040	68,040	235,166	68
計	336	317	94.3%	338,040	68,040	211,941	66	
ホルス(5才) 雌	17	17	100.0%	359,640	75,600	188,873	702	

▼搾乳素牛価格(北海道)

(単位:円・頭)

市場	開催日	出場頭数	成立頭数	成立率	最高価格	最低価格	平均価格
南北海道	12日	92	88	95.7%	1,142,640	233,280	853,924
釧路	17日	231	184	79.7%	1,078,920	436,320	847,096
根室	18日	417	380	91.1%	1,205,280	344,520	884,406
豊富	19日	254	195	76.8%	1,111,320	650,160	886,575
十勝	24日	850	761	89.5%	1,455,840	381,240	912,398
北見	25日	318	281	88.4%	1,091,880	510,840	894,590
計		2,162	1,889	87.4%	1,455,840	233,280	879,832

業務報告 (1月分)

- 4日 新年五礼会
- 6日 新年挨拶廻り
- 9日 広島県JA常勤役員研修
- 10日 山内酪農組合新年会
- 10日 甲奴郡酪農組合役員会
- 10日 庄原市酪農振興会役員会
- 12日 HJC幹事会
- 15日 加工原料乳生産者補給金全国説明会
- 15日 飼料生産型酪農経営支援事業説明会
- 16日 西部ミルク会研修会・新年会
- 16日 世羅郡酪農振興会視察研修
- 17日 ヘルパー調整会議
- 17日 容器リサイクル制度説明会
- 18日 第三回生産基盤強化対策委員会
- 19日 西部・高宮リサイクル品申込開札
- 19日 ひろく女性グループ連絡協議会第二回委員会
- 22日 第七回JA合併専門委員会
- 23日 学乳供給推進協議会
- 23日 甲奴郡酪農組合総会
- 24日 グリーンウインズさとやま新年会
- 24日 中国生乳販連会員実務責任者会議
- 25日 改良同志会三次支部総会
- 25日 乳代精算システムあり方検討会
- 26日 庄原いちばん協議会逸品推進部会会議
- 26日 第十回理事会
- 29日 三次工業団地自治会新春臨時総会
- 29日 あきたかた酪農振興会新年会
- 30日 牛乳普及協会運営委員会
- 30日 西部・MB施設一部解体撤去第二回入札説明会
- 30日 広酪ホルスタイン改良同志会総会
- 30日 食農マツチングフェア
- 31日 辞令交付式
- 31日 庄原地域酪農振興会新年会
- JA自己改革担当常勤役員会議
- 三次市酪農振興会役員会
- ほほえみ会新年会

編集後記

- ▼二月上旬から中旬に亘り、氷点下十℃を超える極寒の日が続きました。
- ▼まるで、北海道を想わせるような雪質で、積もった雪も風が吹けば舞い上がっていました。
- ▼例年であれば、水分をしっかりと含む重い雪質が、今年は軽く感じます。
- ▼早朝、長靴を履き、降り積もった雪道を歩くと、ギュギユとまるで、米粉が麦粉を踏むような音さえしました。
- ▼この極寒のもとで酪農家の皆さんには、牛舎ウオーターカップの凍結、停電、水道管爆裂など、寒さに震えながら大変な思いをされていました。衷心よりお見舞い申し上げます。
- ▼集乳車両も道路凍結の影響や、事故により酪農家への集乳遅延も生じました。
- ▼このほか、三次CSでは、水道管凍結等により影響を被りましたが、職員による修繕対応で大きな支障も無く受乳することが出来ました。
- ▼話題一転、畜安法改正で酪農家(生産者)が生産される生乳は平成三十年四月より自由に販売先を選ぶことが可能となりました。
- ▼広酪では、先の地区懇談会や酪農家を個別訪問して生乳出荷先を自由に選ぶことが出来るとのメッセージとともに、生乳受託契約の概要や取引規格、経費負担などの説明にあたりました。
- ▼お陰様で、平成三十年度は、全ての酪農家から生乳出荷先として広酪を選択戴き、その生乳委託合計数量は四万六千四百八十六トンとなりました。

市町別生乳受託量の進捗状況(1月)

(単位:トン)

市町名	生乳生産量	生産占有率	前年比(同月)	29年度累計	前年比(累計)
庄原市	851.3	22.5%	97.3%	8,761.4	96.6%
三次市	629.9	16.7%	93.2%	6,669.8	95.5%
世羅町	602.1	15.9%	99.1%	6,064.3	100.9%
北広島町	432.0	11.4%	101.5%	4,493.0	106.1%
安芸高田市	363.8	9.6%	95.0%	3,765.0	99.8%
東広島市	311.1	8.2%	94.2%	3,175.5	95.6%
府中市	220.7	5.8%	99.9%	2,125.4	96.4%
福山市	135.1	3.6%	93.3%	1,317.9	100.7%
三原市	82.2	2.2%	87.7%	807.7	83.0%
広島市	76.6	2.0%	103.7%	800.7	96.9%
呉市	55.1	1.5%	102.4%	530.0	103.0%
神石高原町	16.0	0.4%	25.9%	225.0	33.2%
合計	3,775.9	100.0%	95.6%	38,735.6	97.1%

プール乳価(1月分)

プール乳価	109.889円
前月分プール乳価	111.212円
前月対比	98.8%

生乳生産量など前年同期比較(1月分)

前年対比区分	戸数	構成比	増産乳量(kg)
生乳生産量が100%以上に達した組合員戸数	50戸	40.0%	218,496.2
生乳生産量が100%未満となった組合員戸数	75戸	60.0%	-268,124.4
合計	125戸	100.0%	-49,628.2

注)この比較は、平成30年1月の生乳出荷のあった組合員を基準に示しています。
(廃業組合員は含まない)

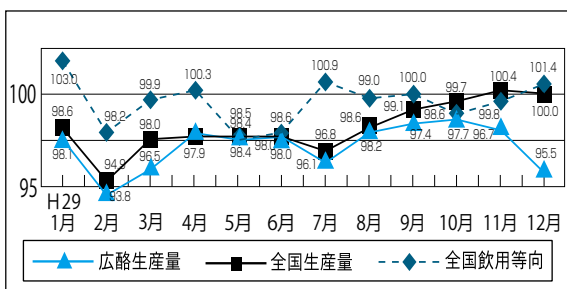
生乳受託実績(1月)

地域	備北	南部	西部	東部	合計
生乳出荷組合員戸数(戸)	39	11	38	37	125
生乳出荷量(ト)	1,332.0	366.3	872.4	1,205.2	3,775.9
前年同月対比(%)	95.7%	95.3%	98.9%	93.6%	95.6%
前月対比(%)	99.4%	102.0%	101.1%	99.8%	100.2%
生乳出荷累計(ト)	13,854.0	3,705.5	9,058.7	12,117.4	38,735.6
広酪構成比(%)	35.8%	9.6%	23.4%	31.3%	100.0%

市町別の生乳出荷組合員による購買品利用高の状況(12月)

No	市町名	購買品利用高(千円)	生乳出荷量(ト)	購買品利用占有率	生乳1kg当たりの購買品利用高(円)
1	庄原市	47,398	848	29.6%	55.9
2	三次市	38,951	639	24.3%	60.9
3	安芸高田市	19,801	369	12.3%	53.7
4	府中市	15,153	218	9.4%	69.5
5	北広島町	12,076	417	7.5%	28.9
6	福山市	7,670	138	4.8%	55.5
7	世羅町	7,622	603	4.8%	12.6
8	三原市	4,674	85	2.9%	54.9
9	東広島市	4,639	305	2.9%	15.2
10	神石高原町	1,394	17	0.9%	82.0
11	広島市	589	77	0.4%	7.6
12	呉市	403	54	0.3%	7.4
	合計	160,370	3,770	100.0%	42.5

生乳需給の前年比推移(12月)(単位:%)



平均委託日量は百二十七・三トンとなりますが、これ以上の生乳生産量となることを期待しています。

▼本誌「今月号の特集」は、生乳生産基盤回復を期待して、生乳需給情勢の近況を紹介していますが、生乳生産基盤の下降は、乳業者による経営方針の転換をもたらさず、最悪、工場の撤退を生じ、リスクすら伴っています。

▼現に広島県に工場拠点を設けた大手乳業者(明治・森永・グリコ)の撤退が続いています。平成三十年度の学校給食牛乳(県内児童生徒二十万八千人対象)の入札参入乳業者は四社と大きく減りました。

▼近くの乳業者喪失は、生産生乳の運搬コスト上昇を招き、酪農家所得に影響を与えます。一方、生乳生産量が安定的に伸長する地域には、おのずと乳業者や関連産業が育ち、そのスケールメリットから酪農家所得の向上に期待が持たれます。今や、広島県の現実は残念ながらこれに逆行していると云えます。

▼広酪の組合長は、「戸数減少しても生乳生産量をしっかりと伸ばすことが重要」と力を込めて発信しています。

▼生乳需要に応える供給体制を大前提として、酪農家の皆さんにはしっかりと乳を搾って戴くことを願ってやみません。

▼自力に満ちる生乳生産量向上にあたり、牛作り、つまり乳用雌後継牛の確保をお願いします。

(A・N)